

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜・進学
使用教科書					
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ②健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度の形成。
- ③心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○スポーツテスト ○集団行動	・各種目の記録から得点を計算する ・体育委員の指示のもと集団行動が円滑に行えているか	10月	○バスケットボール(男子) ○サッカー(女子) 9月～12月中旬まで	・レポート ・ノート ・体育理論テスト
5月	○ソフトボール(男子) ○ダンス(女子) 5月～7月上旬まで	・レポート ・ノート ・体育理論テスト	11月		
6月			12月		2学期期末考査
7月		1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	○バスケットボール(男子) ○サッカー(女子)	・レポート ・ノート ・体育理論テスト	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

知識・理解 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度 ④運動
上記の4観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

知識・理解： 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
(レポート、体育理論小テスト)

思考・判断・表現： 知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画考えることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。
(ノート、レポート、体育理論小テスト)

主体的に取り組む態度： 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。
(授業態度、授業運営のサポート、レポート)

運動技能： 記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。
(実技テスト、技能観察)

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 アスリート
使用教科書					
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ②健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度の形成。
- ③心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○スポーツテスト ○集団行動	・各種目の記録から得点を計算する ・体育委員の指示のもと集団行動が円滑に行えているか	10月	○バスケットボール(男子) ○サッカー(女子)	・レポート ・ノート ・体育理論テスト
5月	○ソフトボール(男子) ○ダンス(女子)	・レポート ・ノート ・体育理論テスト	11月	9月～12月中旬まで	
6月	5月～7月上旬まで		12月		2学期期末考査
7月		1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	○バスケットボール(男子) ○サッカー(女子)	・レポート ・ノート ・体育理論テスト	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

知識・理解 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度 ④運動
上記の4観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

知識・理解： 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
(レポート、体育理論小テスト)

思考・判断・表現： 知識を活用し、技能向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画考えることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。
(ノート、レポート、体育理論小テスト)

主体的に取り組む態度： 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。
(授業態度、授業運営のサポート、レポート)

運動技能： 記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。
(実技テスト、技能観察)

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決